

このした 橋梁点検実習施設「1958 木ノ下橋」

(公財) 福岡県建設技術情報センターでは、平成26年度から市町村橋梁長寿命化支援を重点的に実施しており、今後その支援の重要性については増々高くなるものと考えております。

現在、橋梁点検に関する研修・講習会を実施しておりますが初任者や土木未経験の方々へ向けて、より安全でわかりやすい研修・講習会が求められています。

安全でわかりやすい研修・講習会の実現のため、当財団の敷地内において本施設を平成30年5月に整備いたしました。



《施設の特徴》

- ① 点検実習の安全性向上
 - ・河川水位や一般交通の影響を受けない環境で点検実習ができる
- ② 研修の“わかりやすさ”の向上
 - ・座学テキストで時間をかけて説明をしていた橋梁構造や損傷イメージが一目瞭然
- ③ 点検実習の効率化
 - ・現場までの移動時間が発生しない
 - ・桁高が低く複数人同時点検が可能のため、順番待ちなどのタイムロスが激減
 - ・現場実習を行う際、現場で煩雑となる点検前確認や注意点の解説を事前にできる
- ④ 点検実習の恒常的提供
 - ・河川状況や交通状況による実習中止を回避でき、安定したサービスを提供
 - ・現場実習で使用している橋梁が補修や架換えとなっても恒常的に点検実習を提供



このした 一般県道畦町村山田線「木ノ下橋」



所在地：宗像市村山田
架 設：西暦1958年 (S33)
橋 長：9.3m
全幅員：4.9m (有効幅員4.5m)
A1-P1：単純桁 RC床版 4.4m
P1-A2：単純桁 RCT桁 4.9m
橋 台：重力式橋台 (A1, A2)
橋 脚：ハイルベント橋脚 (P1)

橋梁架換工事により平成30年4月に撤去

教材として有効活用



現地架設状況を再現するため桁と併せて下部工(P1,A2)も活用

橋梁点検実習施設「1958木ノ下橋」平成30年5月完成

